

**日本人留学生500人が選ぶ、世界の語学学校ランキング  
「Japan Best School Award 2016」を発表  
～治安のよさや学習環境が重視され、カナダの学校が10校中上位4校を占める結果に～**

雑誌「留学ジャーナル」の発行元であり、日本最大級の留学エージェントでもある株式会社留学ジャーナル（本社：東京都新宿区信濃町34 JR信濃町ビル 代表取締役社長：安藝 清）は、500名の留学体験者の評価レポートの回収データをもとに集計した、2016年版の海外語学学校ランキング「Japan Best School Award 2016」を当社Webサイトおよび「留学ジャーナル2016年5月号」（3月10日発行）にて発表します。

■ 「Japan Best School Award 2016」総合ランキング 結果一覧 ※調査概要は次頁をご参照ください

順位	学校名	総合平均評価スコア
第1位	ビクトリア大学付属集中英語コース(カナダ/ビクトリア)	4.80点
第2位	ILSC、モントリオール校(カナダ/モントリオール)	4.60点
第3位	カプラン インターナショナル イングリッシュ、バンクーバー校(カナダ/バンクーバー)	4.56点
第4位	ILSC、トロント校(カナダ/トロント)	4.50点
第4位	フェニックス アカデミー(オーストラリア/パース)	4.50点
第6位	ケアンズ ランゲージ センター/ユーロセンター、ケアンズ校(オーストラリア/ケアンズ)	4.47点
第6位	CCEL、クライストチャーチ校(ニュージーランド/クライストチャーチ)	4.47点
第6位	センター オブ イングリッシュ スタディーズ(アイルランド/ダブリン)	4.47点
第6位	グローバル ビレッジ イングリッシュ センターズ、ハワイ校(アメリカ/ハワイ)	4.47点
第6位	サンディエゴ州立大学付属集中英語コース(アメリカ/サンディエゴ)	4.47点

\*そのほか、当社Webサイトでは「学校スタッフ」「滞在先」「学校の施設」「環境」「授業の質」の項目別ランキングもご覧いただけます <http://www.ryugaku.co.jp/spot/award/> 【3月10日（木）より公開】

「Japan School Award」は留学ジャーナルが2010年から実施する海外の語学学校ランキングで、今年で7回目の発表となります。

今年度の集計では、「治安のよさ」や「学習環境のよさ」を重視して留学先を選んだ方が多かったため、他国と比べて治安がよく、安全性が世界トップレベルのカナダの学校での満足度が高く、総合ランキングトップ10のうちカナダの学校が上位4校を占める結果となりました。

第1位に選ばれた「ビクトリア大学付属集中英語コース」は、英語の上達だけでなく異文化に対応できるスキルを身に付けたい留学生のためのプログラムを提供しているのが特長です。さらに、学校スタッフの手厚いサポートや、校内の日本人スタッフに相談ができるなど、サポート面でも高い評価を得ました。

留学ジャーナルではこのような表彰制度を通して、良質な語学学校への留学支援に努めるとともに、より一層のサービス向上に取り組んでまいります。



「Japan Best School Award 2016」第1位を受賞したビクトリア大学付属集中英語コースの授業風景(左)とビクトリア大学の外観(中央)

～本件に関する報道関係者様のお問い合わせ～

株式会社 留学ジャーナル 広報担当：石澤、久保

TEL：050-3033-4122 FAX：03-5312-4469

E-mail：pr@ryugaku.co.jp URL：http://www.ryugaku.co.jp

Facebook 公式ページ「留学ジャーナル」：<https://www.facebook.com/RyugakuJournal>

## <参考情報>

### ■「Japan Best School Award 2016」調査概要

回収期間：2015年1月1日～2015年12月27日

総回収数：留学体験者より500部

調査エリア：世界11カ国

発表日時：2016年3月10日

調査方法：留学ジャーナルから留学された方からの、語学学校の評価レポート「現地レポート」の回収データを元に集計。「学校スタッフ」「滞在先」「学校の施設」「環境」「授業の質」という5つの採点項目があり、総合平均点を算出。

発表方法：留学ジャーナルWebサイト <http://www.ryugaku.co.jp/spot/award/> ※3月10日（木）より公開  
留学情報誌「留学ジャーナル5月号」（3月10日発行）誌面にて発表

### ■留学体験者からのコメント

#### 第1位 ビクトリア大学付属集中英語コース

- ・「授業以外でもプレゼン準備やアクティビティなどコミュニケーションを取る場が多いので、力はつくと思います。長期で留学したいと思える学校、街でした。」（大学生・男性）
- ・「先生は“助けになるから何でも聞いて”と繰り返し言ってくれました。とても優しい方ばかりだと思います。来て1週間で確実に英語力が身についてきているのを感じました。」（社会人・男性）
- ・「1ヵ月と短い期間でしたが、非常に内容の濃い日々でした。クラス内のレベルの差が少し気になりましたが、先生方が個人個人にあったレベルでサポートしてくださったことがとても印象的でした。」（大学生・女性）



#### 第2位 ILSC、モントリオール校

- ・「生徒一人ひとりが約30分～1時間のプレゼンテーションを行う授業がありました。テーマを決めて、Powerpointで各自準備をして発表するというのは初めての経験でとても勉強になりました。」（社会人・女性）
- ・「主要な観光地（ノートルダム聖堂・旧市街など）にかなり近いロケーションで、チャイナタウンも近かったです。ダウンタウンや地下街のショッピングモールにも出られるので、買い物やレジャーにも便利でした。」（社会人・女性）
- ・「コミュニケーションクラスは4週間ごとに先生が変わり、先生それぞれの授業スタイルがまったく違うので、毎月新しい発見と楽しさを味わうことができました。」（社会人・女性）



#### 第3位 カプラン インターナショナル イングリッシュ、バンクーバー校

- ・「先生やスタッフは基本的にフランクで、わからないことがあればいつでも話を聞いてくれます。授業はユーモアを交えながらも、トピックに関連する様々な知識を教えてくれるので、飽きずに参加することができました。」（社会人・男性）
- ・「授業ではスマートフォンをととてもよく使うので、必須です。Specific Englishクラスの1分間スピーチは原稿は作らず、スマートフォンで録音するというスタイルが印象的でした。宿題はオンラインと紙が半々です。」（大学生・女性）
- ・「街の中心部にあるため、15分の休憩時間でもコーヒーやスナックを買いに行けます。スケートリンク、美術館、いろいろな国のレストランがあるなど十分に楽しめます。」（大学生・男性）

